

9月定例会の結果

議案第77号 彦根市副市長の選任につき同意を求めるについて 反対

副市長候補者の青木氏は、豊富な行政経験と高い専門性を備えた立派な人物である。しかし、公共施設廃止や市功労者表彰式縮小などで市民や職員の元気や励みが失われつつある今こそ、厳しい財政の中、夢とやる気を持てる施策が必要であり、受け身だけではなく攻めの姿勢で、難局を乗り切る情熱を持った候補者が現れると信じて反対。

副市長候補者の経歴を否定するものではないが、7月臨時会での否決から2か月での再提案には十分な理由が示されておらず、給与設定や条例制定も不透明で、市長の説明責任が果たされていない。職員を守る体制づくりは市長の責務であり、副市長任せにすべきではなく、まずは条例制定に向けた姿勢を示すべきであるため反対。

議案第62号 彦根市工場立地法準則条例案

反対

議案第68号 彦根市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案

議案第72号 彦根市荒神山自然の家の設置および管理に関する条例を廃止する条例案

議案第62号は地球温暖化が進む中で緑地面積率を引下げる内容であり、市の地球温暖化対策や緑の基本計画に反する。企業誘致の名目での緑地削減は、二酸化炭素吸収という企業の社会的責任を軽視するものもあり反対。議案第68号は病床削減により感染症や災害時の医療体制がぜい弱となり、地域住民の命を守る責務を果たせず、議案第72号は荒神山自然の家が子どもの自然体験や成長に不可欠であり、廃止すると教育的意義を損なうため反対。

議案第56号 令和7年度（2025年度）彦根市一般会計補正予算（第3号）

反対

議案第57号 令和7年度（2025年度）彦根市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

議案第58号 令和7年度（2025年度）彦根市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）

議案第60号 令和7年度（2025年度）彦根市下水道事業会計補正予算（第1号）

議案第67号 彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案

議案第70号 彦根市公共下水道使用料条例の一部を改正する条例案

議案第56号について、特定在留カードやマイナンバーカード整備に伴う経費は、プライバシー侵害や人権問題の懸念が解消されず行政負担を増加させ、俳遊館解体費は市民との協議不足で有効活用が図られておらず反対。議案第57号・58号は公費をもって拡充すべきで、制度そのものに問題があり反対。議案第60号は議案第70号の条例制定に伴うシステム改修費であり、議案第67号・70号は使用料等の引き上げで市民負担が増大するため反対。

議案第83号 令和6年度（2024年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めるについて 反対

子育て世代の生活苦が増す中、不用額の多さは住民福祉を軽視した財政運営であり、過度な稼ぐ自治体志向や金持ち優遇のふるさと納税制度依存は公共性を損ねている。地域経済対策リフォーム事業の拡充こそ福祉と経済の両輪となる施策であり、現方針には賛同できず反対。

議案第83号 令和6年度（2024年度）彦根市各会計歳入歳出決算につき認定を求めるについて 賛成

令和6年度決算は、前市長のもと財政健全化を最優先に進め、公共施設の適正配置や不要不急の事業を見直した。民間活用やふるさと納税により自主財源を確保し、子育て・教育施策も着実に実施。限られた財源の中で効率的な行政運営を行った点を高く評価し賛成。

委員会議案第3号 彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案

反対

修正案 彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案に対する修正案

賛成

委員会議案第3号については職員を守るための改正条例案である点は評価する。しかし、前市長と職員への刑事告訴が不起訴となつた以上、根本的な再発防止には議員の政治倫理を厳格に適用することが不可欠であり、職員との良好な関係構築を加えるだけでは不十分である。そのため本案には反対。一方で、市長等との健全な緊張関係を保持する規定とすることが適切であるため、修正案には賛成。

修正案 彦根市議会議員政治倫理条例の一部を改正する条例案に対する修正案 反対

修正案は、職員との信頼関係回復を曖昧にし、過去の反省や再発防止の意思を覆い隠す内容である。議会が自ら責任を認め、職員を対等に尊重する原案こそ信頼関係回復の第一歩であり、市民に示すべき姿勢もある。理念を後退させる修正案には賛同できないため反対。

一般会計補正予算の主な事業

文化施設適正管理事業

121,132千円

ひこね市文化プラザの屋根および中央監視装置を改修するため、必要となる経費を補正するもので、寄附金、諸収入および市債をもって賄うものです。

所要額	既決予算額	補正額
修繕料 121,132千円	- 0	= 121,132千円



「映画のまち・彦根」推進事業

9,500千円



彦根映画祭を開催するに当たり、クラウドファンディング等で受けた資金を彦根映画祭実行委員会へ負担金として支出するため、必要となる経費を補正するもので、全額寄附金をもって賄うものです。



・彦根映画祭実行委員会負担金

所要額	既決予算額	補正額
9,500千円	- 0	= 9,500千円

特別職給与費

△315千円

副市長の給与等を5%削減するため、その経費を補正するものです。

給与月額 770,000円 → 731,500円 (△38,500円)

期末手当 1,570,800円 → 1,492,260円 (△78,540円)

〈積算内容〉

	所要額	現計額	補正額
給料	18,444千円	- 18,675千円	= △231千円
職員手当等	35,502千円	- 35,581千円	= △79千円
共済組合費	4,609千円	- 4,614千円	= △5千円
計			△315千円

予算常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

予算常任委員会は、9月16日(火)に委員会を開催し、5件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第56号、議案第57号、議案第58号、議案第59号、議案第60号

【主な質疑】

○議案第56号に対して

- Q 俳遊館解体工事の完了予定と今後の活用は。
- A 解体は年度内に完了、今後は、町内での活用などのご相談はお伺いするが、原則は売却と考えており、土地の売却代金で解体費が賄えればと考える。なお、建物を別の場所への移築やひき家をして保存するなどの相談についてもお伺いする姿勢でいる。
- Q クラウドファンディング等で調達する彦根映画祭実行委員会負担金950万円の内、職員の人事費の額は。
- A 実行委員会事務局を本市エンタテインメント課フィルムコミッション室で担い、通常の業務範囲内で実施する。

○議案第59号に対して

- Q 病床管理業務支援システム導入により期待する効果は。またその調達の方法は。
- A 入退院情報をリアルタイムで共有することで、職員の業務負担が軽減されることを期待。調達の方法は公募型プロポーザルの予定。

【主な討論】

○議案第56号、議案第57号、議案第58号、議案第60号に対して

- 反対 マイナンバーカードと在留カードを一体化する特定在留カードは、プライバシー侵害の懸念がある。国保・後期高齢者医療について、新たに創設される制度が市民負担が増えることから納得できず、下水道のシステム改修費も利用料値上げに関わるもので市民負担が増えることとなるため、反対。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会は、9月17日(水)に委員会を開催し、議案3件について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第61号、議案第63号、議案第66号

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決

